

「春薬柳」実証記録				実施地	中田森林（美唄自己所有山林内）			
育成本数	100本	現況数	28本	実施品目	春薬柳（広葉樹）	試験面積	270 m ²	
開始調査	平成30年5月17日（植付日）			調査日	平成30年10月30日	経過	166日目	
前回調査	平成30年5月29日	直径	10mm	気温：6.5℃	今回調査記録	直径	10.5mm	
作業内容	苗木植付	高さ	0.6M	作業内容	育成調査	高さ	0.8M	



●5月作業風景



●10月の点景



●育成木 H=80 cm ↑



←エゾヤチネズミ
被害（茎の捕食）

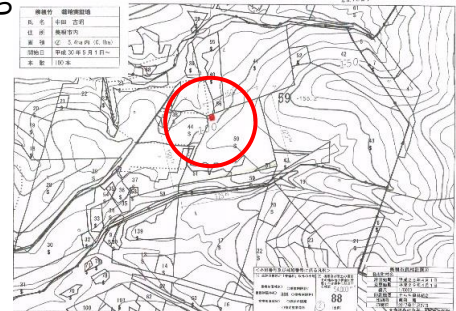


外周表皮を
きれいに食べている

■育成状況

- ・ 2年放置山林への植え付け。
- ・ 草地山林により雑草の伸びも早く、エゾヤチネズミの被害が発生。
- ・ 5月の忌避剤無散布によりネズミによる捕食が発生。雑草等による日陰により行動する特性。
- ・ 熊の出没地域でもあることから、鹿被害が見受けられなかった。
- ・ ネズミ被害により当初の1/3程度になり、他の山林被害の50%以上に匹敵した。
- ・ ネズミによる被害防止策として、ペレット忌避剤の開発・下草刈りの実施が改善点となる。
- ・ 改善点→添え木に沿って上まで捕食していることから
- ・ 定植時は、添え木が無い状態での実施が良となる。

●育成地→



■備考

- ・ 散布無し